

第 34 回 教育実践研究論文(個人・共同研究) 募集要項

沖縄県内の教育関係者が使命感を持って、日々行っている教育実践の優れた結果の報告の場として、日教弘沖縄支部が教育実践研究論文の募集を行う事業です。令和 8 年度は下記要項のとおり実施します。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 沖縄支部
2. 後援 文部科学省

3. 募集要件

(1) 助成の趣旨

学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践研究論文を対象とします。

(2) 応募資格

沖縄県内の国・公・私立の認定こども園（※保育の実践は除く）幼・小・中・高及び特別支援学校に勤務する教職員（教育庁、市町村教育委員会も含みます）

① 連続応募は 3 年間までとします。（共同研究含む）

② 1 名につき 1 編の応募とします。（共同研究含む）

ただし、共同研究については 3 名以内の少人数のものとし、グループ研究は除きます。

③ 校長単独及び校内研究内容は、応募できません。

(3) 研究内容

- ① 教科指導、道徳、特別活動等に関する実践的研究
- ② 学年・学級経営に関する実践的研究
- ③ 生徒指導等児童・生徒の健全育成に関する実践的研究
- ④ 国際理解教育、情報教育に関する実践的研究
- ⑤ 特別支援教育に関する実践的研究
- ⑥ 平和教育・人権教育・環境教育に関する実践的研究
- ⑦ 学社融合・社会教育に関する実践的研究
- ⑧ 沖縄の歴史・文化に関する実践的研究 等

(4) 助成の対象にならないもの

- ① 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの
- ② 他団体に応募（推薦含む）済みのもの
- ③ 日教弘沖縄支部へ応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募（推薦含む）した内容のもの
- ④ 他団体の助成金を得て行った研究・活動の内容のもの
- ⑤ 海外（在住または勤務）から応募したもの
- ⑥ 生成 AI を用いて作成したもの

※ 応募論文は趣旨に沿った未発表のものに限ります。

※ 内容が類似したものであれば、論文の様式でないもの（申請書・レポート等）であっても入賞の有無を問わず発表・応募済みとみなします。

※ ただし、過去に類似した内容で発表または他団体に応募済みのものは、下記の条件を満たすもののみ対象とします。

- 1) 新たな内容に主軸を置いているもの（内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とします）
- 2) 過去に応募した書類を提出できるもの（選考委員会でも確認します）

(5) 応募要領

① 研究主題

論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

② 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワードを使用し、横書きとします。

下記のとおり設定の上、論文等を提出してください。（ア・イともに必須）

なお、電子データ（CD-ROM ※USB は不可）を併せて提出してください。（ア・イはそれぞれ別のファイルで作成してください）

ア 要旨

様式は「48 字×43 行×1 段組×A 4 判 1 ページ横書き」とします。

（フォントサイズ 10.5 書式：MS 明朝体）

執筆者の所属学校・役職・氏名・研究主題・副題・研究の要旨をまとめてください。

イ 本文

様式は「24 字×43 行×2 段組×A 4 判 4 ページ横書き」とします。

（フォントサイズ 10.5 書式：MS 明朝体）

本文の他、この中に研究主題・執筆者の記載欄（24 字×6 行×2 段組・本文様式例 参照）及び図表・写真等の資料を含みます。

掲載する図表、写真等の資料は、「教育実践研究論文集」作成時に見にくくならないように配慮してください。

A4 判 1 ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにしてください。

あくまで補足資料であるため、論文の内容は本文に記入してください。

（日教弘募集論文に準ずる）

※ 二次元コード等を添付して、論文や資料（画像・動画等含む）へ誘導することはできかねます。（論文はあくまでA4判4ページ以内であるため）

※ 上記と異なる様式・不備がある状態で応募した場合や、設定が正しくても明らかに字数・行数が逸脱している場合、選考の対象外となることがあります。ホームページで様式を確認してください。

※ 要旨及び論文に記載する研究主題等は、不一致がないようにしてください。

※ 応募の要件を満たしていない場合、受賞の対象外となります。（受賞後に発覚した場合も賞の取消及び賞金の返金を求めることがあります。）

※ 児童・生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。

※ 他の論文等にある図表、写真や長い文章を引用する際には、著作権所持者・団体の引用許可を応募者が取ってください。

- ③ 応募論文原稿はA4 サイズ用紙に印刷したものと電子データ（CD-ROM ※USB は不可）を併せて提出してください。
他に資料として図表・写真等を添付したい場合はA4 サイズ片面 2 ページ以内とします。この場合審査の対象にはしますが、論文集には掲載しません。

- ④ 所定の申請書を添えて学校長を經由し提出してください。

申請書（様式）は当支部のホームページよりダウンロードし、必要事項を記入・押印の上、原稿・電子データ（CD-ROM ※USB は不可）と一緒に郵送または持参にてご提出ください。

（日教弘沖繩支部ホームページアドレス）

<https://www.nikkyoko-okinawa.jp>

- ⑤ 原稿は一切返却いたしませんので提出前にコピーをお取りください。
- ⑥ 応募した論文の著作権は当会に属しても異論ないものに限りします。
- ⑦ 応募締切後は論文内容の変更及び差し替えは認めません。
- ⑧ 研究のまとめ方は、次の事例をご参照ください。

事 例 1	事 例 2	事 例 3
1. 主題設定の理由 2. 研究の仮説 3. 研究の内容 4. 研究の成果 5. まとめ	はじめに 1. 研究計画 2. 研究の方法 及び実践 3. 研究の成果と 今後の課題 おわりに	はじめに 1. 研究の概要 2. 研究の方法 及び実践 3. 研究の成果 (研究のまとめ) おわりに

- ⑨ 選考の観点

- ア. 現代の教育課題を適切に取り上げているか
 イ. 教育課程上適切に位置づけられ、授業の改善に資するものとなっているか
 ウ. 子どもの主体的な変容・発達の姿が見られるか
 エ. 理論と実践が一体となった研究であるか
 オ. その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか
 カ. 論旨や意見は明確であるか
 キ. 論文の展開や文章の構成は筋道立っているか

- ⑩ 募集期間

2026(令和8)年4月1日(水) ～ 2026(令和8)年8月17日(月)【必着・締切厳守】

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ 申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- ・ 助成が決定した場合は、申請書に記入された助成対象の学校及び助成対象テーマと助成金額や贈呈式の模様を、ホームページ、広報誌等で公表します。

⑪ 原稿の送り先（締切期限までに郵送またはご持参ください）

〒900-0014

那覇市松尾1丁目7番12号

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 沖縄支部

TEL : (098)867-1765

⑫ スケジュール

2026(令和8)年	8月17日(月)	募集締切
	8月～10月下旬	選考
	11月下旬	結果通知の送付
2027(令和9)年	1月23日(土)	論文入賞者表彰式
	2月下旬	助成金の送金

※採否は文書で各応募者に連絡します。また、最優秀賞については、日教弘本部主催の「日教弘教育賞」に県代表として応募します。

ただし、過去5年以内（令和3年度～令和7年度）に日教弘教育賞で受賞した者は、県内最優秀賞を受賞しても日教弘教育賞には応募できません。

なお、受賞の理由等、選考に関わるお問い合わせには回答いたしません。

⑬ 助成額

<個人研究・共同研究>

最優秀賞	2編以内	助成金	15万円、賞状
優秀賞	6編以内	助成金	10万円、賞状
優良賞	20編以内	助成金	5万円、賞状
上記以外(奨励賞)			1万円の図書券

[注] 個人研究、共同研究含めて、最優秀2編以内、優秀6編以内、優良20編以内とする。

ただし、共同研究の助成金の額は人数に関わらず定額とします。

※ 共同研究については、必ず代表者と共同研究者の氏名を記載して応募してください。

※ 共同研究の助成金は、代表者の口座へ全額振込いたします。

(共同者への分割の振込は不可)

⑭ 論文の広報

最優秀賞、優秀賞、優良賞は、論文集に集録し、県内の各学校及び図書館、日教弘本部・各支部及び関係団体、教育関係機関に贈呈します。